

フリーターの8割以上が「経済的にゆとりがない」と感じている
約6割が「学び直しが必要」と感じるも、実態は2割に留まる
学び直しの目的は「収入確保」が最多な一方で、負担する費用が壁に
「フリーターの意識・就労実態調査(2024年版)」

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:土屋芳明)は、15~44歳の男性は既卒、女性は既卒かつ未婚のうち、パート・アルバイトとして働いている人を対象に実施した、「フリーターの意識・就労実態調査(2024年版)」の結果を発表しました。

TOPICS

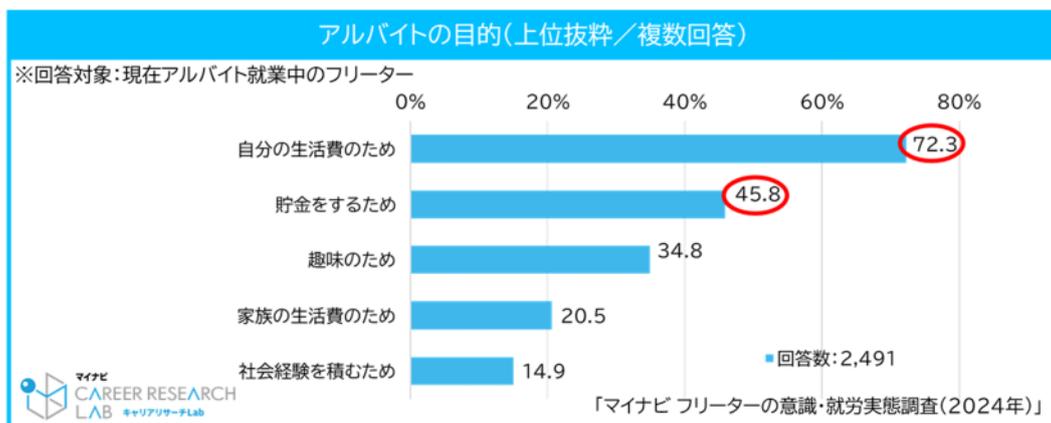
- ◆ 「経済的にゆとりがない」と感じているフリーターは8割以上。アルバイトの目的は「自分の生活費のため」「貯金をするため」など金銭面が上位に【図1、2】
- ◆ 今後最も希望する働き方は「正社員」で32.4%が最多。正社員で働きたい理由は「雇用が安定しているから」が最多【図3、4】
- ◆ 6割が学び直しの必要性を感じる一方で、実際に取り組んでいる割合は2割弱。取り組めていない理由は、「負担する費用が重いため」が40.7%で最多【図5、6、7】

【調査概要】

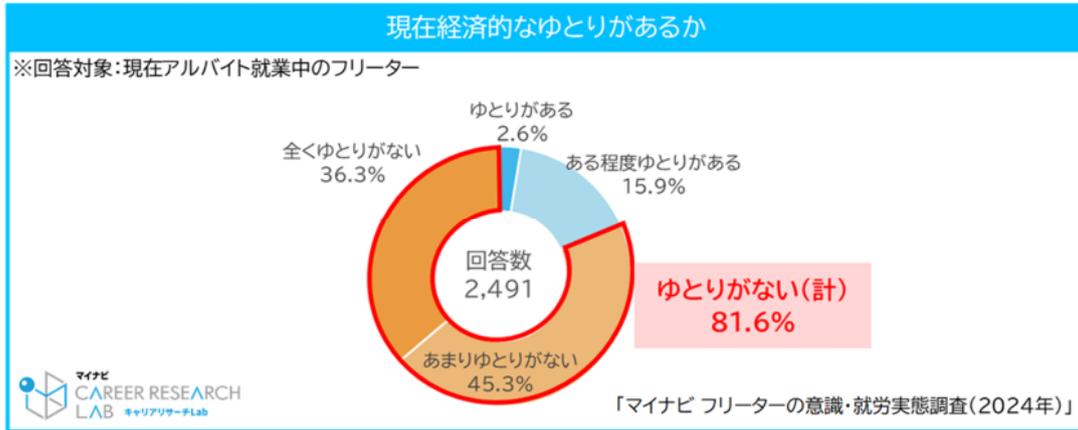
「経済的にゆとりがない」フリーターは8割以上
アルバイトの目的は「自分の生活費のため」「貯金をするため」など金銭面が上位に

現在フリーターとして働く人のアルバイトの目的は、「自分の生活費のため」が72.3%と最も高く、次いで「貯金をするため」(45.8%)、「趣味のため」(34.8%)、「家族の生活費のため」(20.5%)となり、金銭面に関する項目が上位にあがった。また、81.6%の人が、「経済的にゆとりがない」と回答した。【図1、2】

【図1】



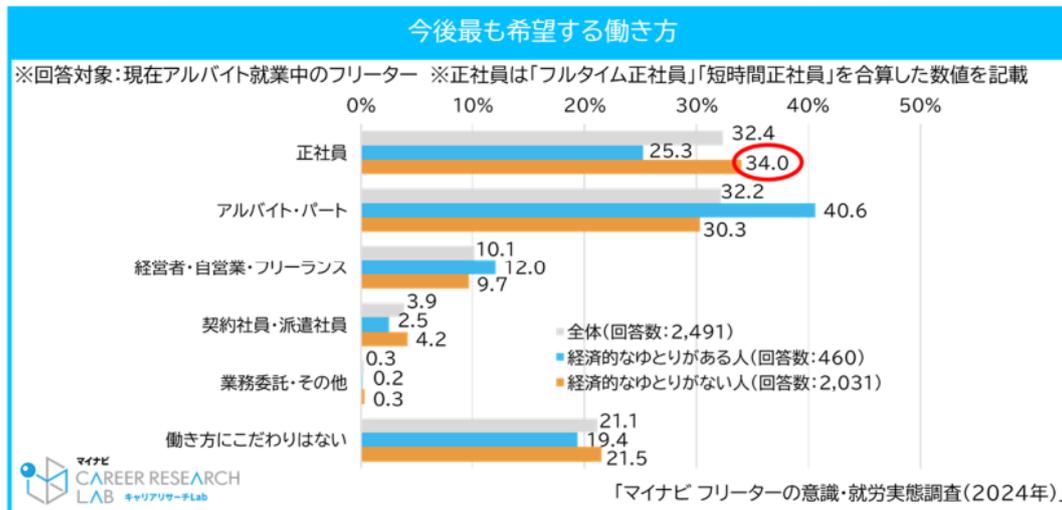
【図 2】



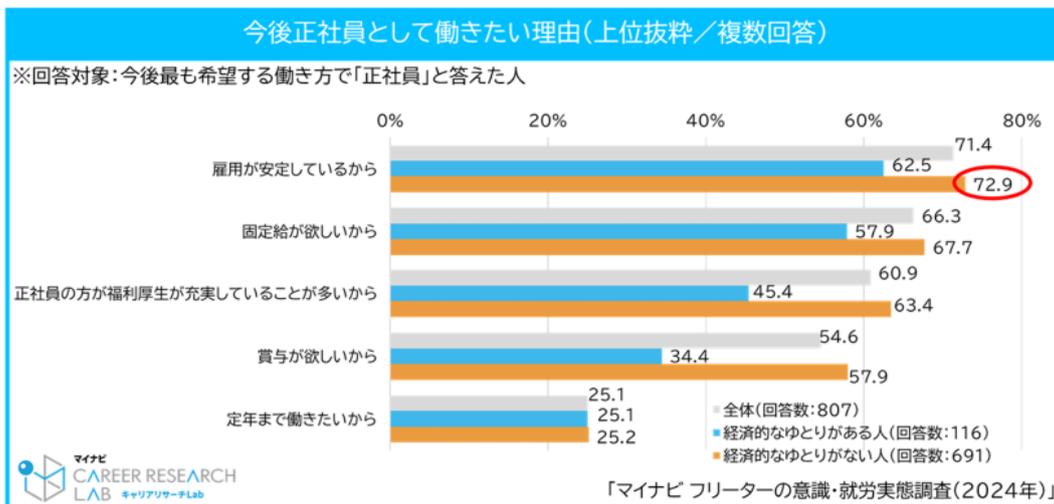
今後最も希望する働き方は「正社員」の32.4%でトップに
正社員で働きたい最多理由は「雇用が安定しているから」

今後最も希望する働き方を聞いたところ、「正社員」が最多で32.4%、次いで「アルバイト・パート」が32.2%だった。経済的なゆとりの有無別でみると、[経済的なゆとりがない]と回答した人は[経済的なゆとりがある]と回答した人より正社員を希望する割合が8.7pt高く、34.0%となった。また、今後正社員として働きたい理由としては、[経済的なゆとりがない]と回答した人では「雇用が安定しているから」が72.9%と最も高く、[経済的なゆとりがある]と回答した人より10.4pt高くなった。[経済的なゆとりがない]と回答した人では、雇用の安定性を理由に正社員を希望する人が多い様子がうかがえた。【図 3、4】

【図 3】



【図 4】



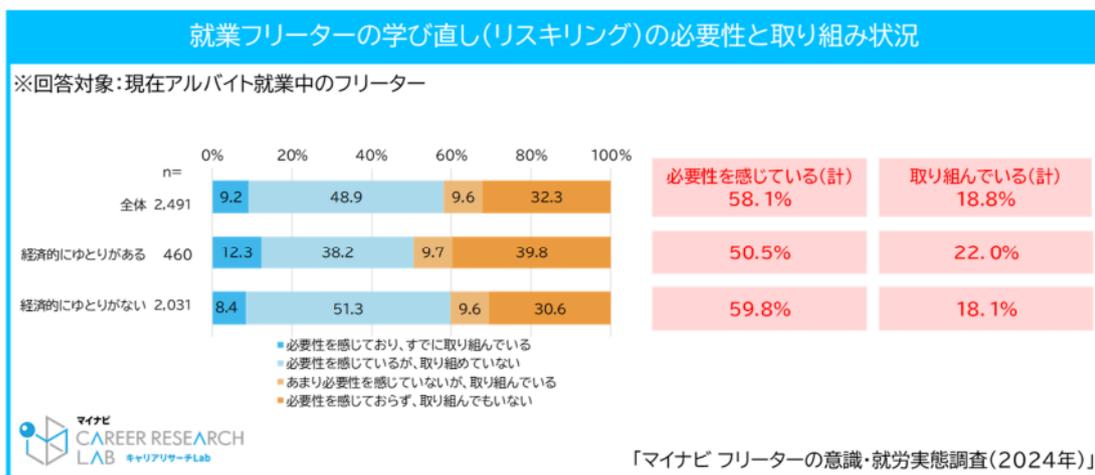
6割が学び直しの必要性を感じる一方で、実際に取り組んでいる割合は2割弱
 取り組めていない理由は、「負担する費用が重いため」が40.7%で最多

学び直し(リスキリング)の必要性を感じている割合は58.1%と約6割。一方で実際に学び直しに取り組んでいる割合は18.8%と2割に満たなかった。

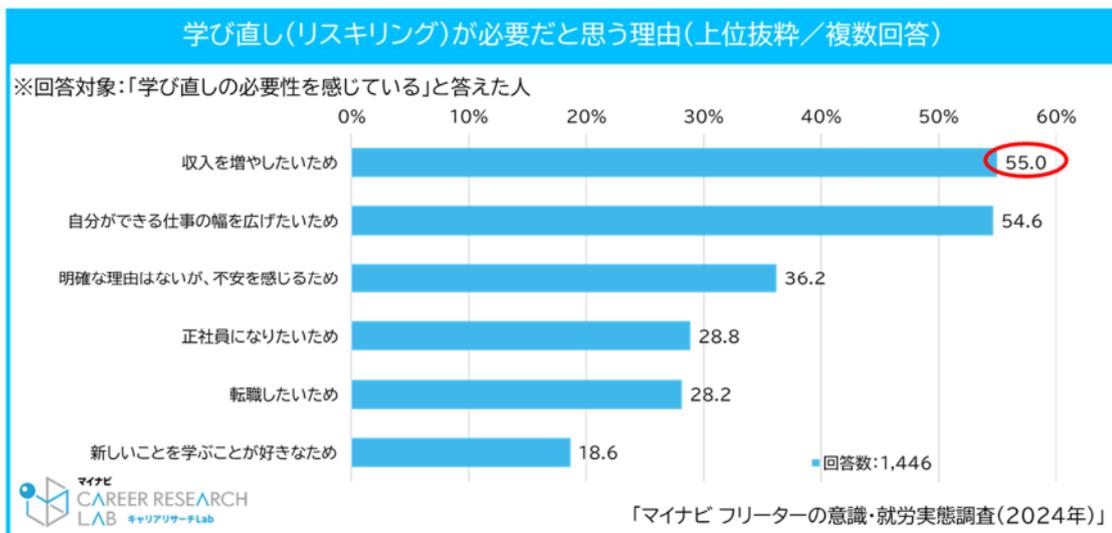
経済的なゆとりの有無別で学び直しの必要性を感じている割合をみると、[経済的なゆとりがない]と回答した人が59.8%と、[経済的なゆとりがある]と回答した人に比べ9.3pt高い結果になった。

学び直しの必要性を感じている理由では「収入を増やしたいため」が55.0%で最も多かったが、一方で、学び直しの必要性を感じているが、取り組めていない人の理由では、「負担する費用が重いため」が40.7%と最も高く、学び直しの意向はあるものの、負担する費用が壁となっている様子が見られた。【図5、6、7】

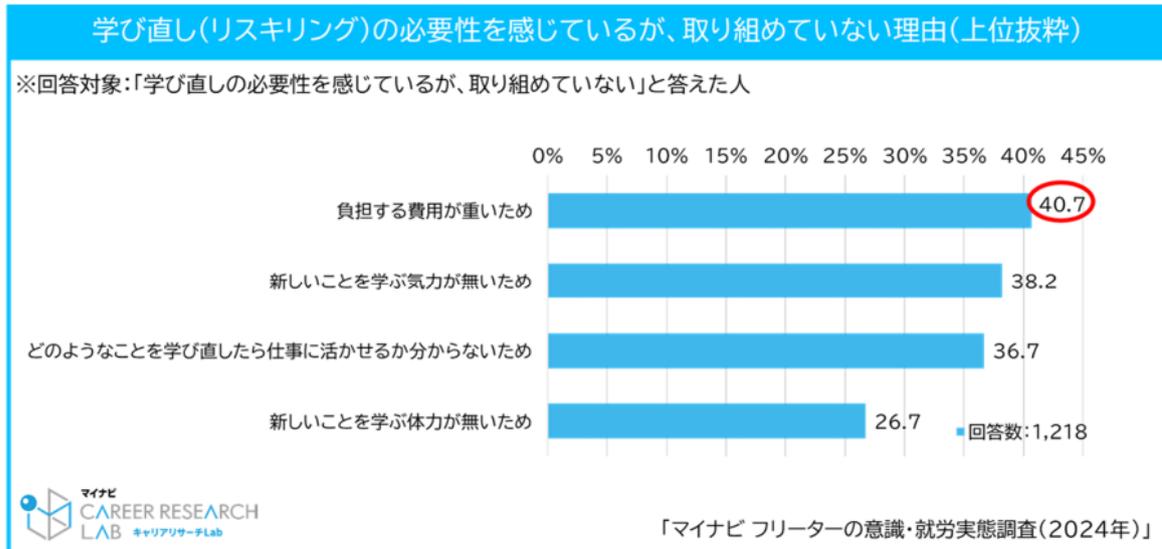
【図5】



【図6】



【図 7】



【調査担当者コメント】

現在アルバイト就業中のフリーターの 8 割は経済的にゆとりがないと感じており、生活のためにアルバイトをしている人が多い現状が明らかになりました。

また、学び直しの必要性を感じているフリーターは多いものの、実際に取り組んでいる割合は 2 割にとどまっており、学び直しに掛かる費用が壁になっていることが分かりました。今後フリーターの学び直しを推進するためには、負担費用の軽減や収入アップなど待遇改善を行うことが必要であると考えられます。さらに、学び直しの推進が、正社員を希望しながらフリーターを継続している人々の正社員化や、経済的なゆとりがあると感じる人の増加にも繋がっていくのではないのでしょうか。

キャリアリサーチラボ 研究員 三輪希実

『フリーターの意識・就労実態調査(2024年版)』

■目的:フリーターのアルバイト実態と意識を明らかにすること

■調査地域:全国

■調査方法:自社調べ(パネル提供元:外部調査会社)

■対象者:15~44歳の男性は既卒、女性は既卒かつ未婚のうち、アルバイト・パートとして働いている人

■回収数:2,491サンプル

■実施期間:2024年2月15日(木)~2月19日(月)

※調査結果の詳細はこちら。

(https://career-research.mynavi.jp/research/20240620_78455/)からご確認いただけます。

「働く」の明日を考える マイナビキャリアリサーチ Lab



『マイナビキャリアリサーチ Lab(ラボ)』は、雇用や労働に関連する様々な調査データやレポートを通じて、雇用の在り方や個人のキャリアを考える上で役立つ情報を提供するサイトです。

蓄積してきた調査結果、新たに分析した雇用関連のレポート・コラム、市場データといった情報の提供を行い、組織と個人をつなぎ、社会全体でキャリアの在り方を考える一助を担います。

【お問い合わせ先】 株式会社マイナビ 社長室 広報部 小池 Email:koho@mynavi.jp